

令和3年度(上半期)
経営発達支援計画に基づく短期目標に係る総合評価

1. 地域経済活動向調査

評価対象事業

- ・管内の小規模事業者の景況調査経済動向資料の分析・作成
- ・公的機関が発行する資料の整理・分析 1-①調査事項に対する分析・公表

実施状況

管内の小規模事業者 80 者を対象に、景気動向調査を 6 月と 9 月に行い公表した。
併せて公的機関発行の景況に関する資料を収集し、公表資料に盛り込んだ。

評価・コメント

製造業 20 者の業種の内訳を教えて欲しいとの質問があった。町内の業者の調査結果に比べ、県や国の公表資料から収集した情報に関しては、実感と異なる部分があるとの意見があった。

対策

職員が収集した多可町内の情報を盛り込み、県や国の公表資料と比較ができるよう内容を工夫する。

2. 経営状況の分析

評価対象事業

- ・『本気』の取り組み小規模事業者の募集
- ・重点支援先を対象とした経営分析キックオフセミナーの開催

実施状況

重点支援先を公募したところ 30 者の募集があった。この事業者を対象として 2 時間 3 回 (5/27、6/3、6/17) の経営分析セミナーをオンラインで実施した。本気の 30 者のうち昨年度受講者 9 者を除く 21 者 (25 名) が受講した。出席者からは積極的な質疑がなされ、セミナー自体は盛況に終了した。国のローカルベンチマークを使用した分析について、参加者に伝わっていなかった部分があり、30 者全ての経営分析を実施できなかったが、分析資料の見方を教えて欲しいとの相談もあった。

評価・コメント

経営分析後のフォロー状況に関する質問があった。外部の委員から、「本気の事業者募集は先進的な取組であり、今後の成果につなげて行くことを期待する。」とのコメントがあった。

対策

分析から事業計画策定、アフターフォローといった一連の支援の流れを理解した上で本気の 30 者に参加いただけるよう、告知方法を工夫して募集する。

3. 事業計画策定

評価対象事業

- ・事業計画策定セミナー（『デザイン経営』の考え方を身に付けるセミナー）の開催

実施状況

本気の30者を対象として、4回（7/1, 7/21, 8/5, 8/19）に渡るデザイン経営を軸とした経営計画作成に関するセミナーを開催した。今年度は、事業アイデアを創出する創造編（前半）と事業計画を実際に作成する実践編（後半）に分け、当会オリジナル様式である「事業計画シート」に各者の事業計画を落とし込みながら進めた。

評価・コメント

委員からは、「計画作成や実施内容についてきめ細かく指導できている」とのコメントがあった他、昨年度の本気の30者の成果に関する質問があり、昨年度支援したうちの数者の現状を報告した。

対策

受講者のフォローが遅れている部分があるため、専門家派遣等の制度も活用しながら計画の早期実施支援を目指す。

4. 事業計画策定後の実施支援

評価対象事業

- ・巡回・窓口相談によるフォローアップ

実施状況

昨年の反省を踏まえ、本気の30者に対するフォローアップを早い段階から開始したこともあり、9月30日現在で昨年度よりも多い延べ144回の支援（巡回相談・窓口相談）を実施した。

評価・コメント

委員からは、本気の30者が事業実施できるようしっかりとした支援を要請する意見があった他、今年度の支援の結果や事業実施の成果を下半期の検証委員会で報告して欲しいとの要望があった。

対策

下半期も継続的に支援を実施し、専門家派遣等の支援制度を積極的に活用する。

5. 需要動向調査

評価対象事業

- ・ヒトを対象にした需要動向調査（未実施）
- ・モノを対象にした需要動向調査（未実施）

実施状況

ヒト（高齢者）を対象とした需要動向調査は、当初9月実施予定であったが診断士協会や

多可町役場との調整不足により、実施が遅れた。今年度は主にコロナ禍で需要が高まっている移動販売等に重点を置いた項目設計で調査を行う予定。

モノ（衣生活・多可町の食）を対象とした需要動向調査は、下半期に実施予定。

評価・コメント

昨年の調査では調査項目のミスが発覚したため、同じようなミスがないようにとの指摘があった。需要動向調査の結果を事業に活用したいので結果をフィードバックして欲しいと、町行政の委員から要望があった。

対策

需要動向調査については、下半期から本格的に実施予定である。事業所が事業活動に反映できるよう、調査の内容を吟味して実施する。

6. 新たな需要の開拓に寄与する事業

評価対象事業

- ・ 広報支援および IT 活用による支援
- ・ 展示会等出展による販路開拓支援
- ・ 人手不足解消のための事業
- ・ 地場産業・地域資源のブランド力向上と地域内消費の拡大事業
- ・ 交流人口増加のためのまちめぐり事業

実施状況

LINE を使用した情報発信では 428 人が登録している。また、感染拡大に配慮しながら、播州織展示会の広報支援及び出展支援、IT 活用ミニセミナー、高校生のための企業展示説明会、大人のインターンシップ事業などに取り組んだ。

評価・コメント

中止となった事業も多かった昨年に比べ「総じてコロナ禍で活動しにくい時期に、着実に事業を実施していることは素晴らしい」「昨年に比べ様々なツールを利用して事業を実施できることが増えている」との評価をいただいた。一方で、下半期に実施予定の会計セミナーに関して「新たな需要開拓に寄与する事業」に含めるのは無理があるのではないかと指摘があった。

対応

下半期もコロナの感染状況を注視し、感染拡大防止に配慮しながら事業の実施を推進する。指摘のあったセミナーに関しては、事業分類を再検討する。

●評価委員による項目別チャート

